

感謝する心と感動する心から

2023年(令和5年)5月9日(火)

# 自律貢献

福山市立向丘中学校

校長 坂田 正治

学校通信No2



生徒の皆さん、物事を成し遂げようとする時、「心の笑顔と心の元気」が必要だと思います。頑張れる時の自分は、「心が笑顔」であり、「心が元気」だと思います。そんな時のあなたが挑戦している姿は、他者から見ても気持ちがよく、むしろ元気づけられます。

あなた自身が、見ている人に、「私もやってみよう」と思わせることができ、その人を成長させる人になれるかもしれません。

あなたのがんばる姿は、見ている人に、「もしかしたら、苦手だけど自分ももう少しがんばればできるかな？できるような気がする」とまで思わせることができると思います。

他者を大切にするというのは言葉だけでなく、姿や行動で相手に感じさせ、相手を魅せるということにもあるのではないのでしょうか。

今年度の生徒会テーマ「一笑懸命」は、自分のためにもなり、人のためにもなるすごくよい言葉だと感心しました。

私が生徒の皆さんに、4月6日(木)、4月7日(金)の始業式や入学式でお話したことを覚えていますか？

私が話した時には、このテーマはまだ知りませんでした。このテーマを見たときに、私の思いとあなた方の思いが一致していると感じ、向中の生徒も私の話を聞く前から同じ考えなんだと思いました。

このことで、生徒と先生が一丸となり、目指してくれるという頼もしさと安心感を持ってました。あとは、実行あるのみです。向中の一年をお願いします。

生徒358名の力と先生方35名の力、なにより向中の強みは、大きな地域保護者のバックアップが備わっていますので、安心して挑戦してみましよう。

今年は、更なる向中が創れると思います。

## 【生徒が主催した朝の挨拶週間】



# 4月27日(木)から、2023年度(令和5年度)大運動会の練習をスタートしました。

358名の創造でどんな大運動会を創るかな？



現在、生徒と教職員が一丸となり、今年度の大運動会に向けて活動しています。

この3年間、世界中が、新型コロナウイルス感染症拡大により、活動制限を余儀なくされてきました。今年度は、ようやく向中大運動会を伝統に近づいた状況で開催できることとなりました。今年度の生徒と教職員は「向中アピール」等、これまでの向中大運動会を経験していない世代です。だからこそ、「新たな向中大運動会」の先駆者となります。

これまで、卒業していかれた先輩方が築かれてきた伝統というステージの上で、自分たちの新たな創作力と推進力で、新向中文化を生み出すことを楽しみとし活動しています。

今年度の大運動会は、保護者およびご家族の皆様の制限を緩和し、開催することといたしました。新たな向中大運動会への温かいご声援をお願いします。

とは言え、感染0には至っていないことから、生徒およびご参加いただく皆様方の安心対策を講じた上での開催といたします。

なにかとご不便をおかけすることもあると思いますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

